

## 第1回ステントグラフトワークショップ 感想文

【日 時】： 2017年4月21日（金） 13：15 ～ 17：15

【場 所】： 広島国際会議場 地下2階 ダリア2

### 参加者①

この度、第45回血管外科学会学術総会でのステントグラフトワークショップに参加し、貴重な経験をさせていただきました。当院での使用経験の少ない device にも触れられる機会が多くあったので、とても充実していましたし勉強になりました。各 device の長所、短所を事前に詳細に説明して頂いたので、ハンズオンセミナーが円滑に進んでいたと思います。今回は3種類の device を経験させていただきましたが、もしもう少し時間を頂けるのであれば、他の device も個人的には御教授頂きたいと思いました。血管外科の需要が高まっていく中で、このような機会を頂くことはなかなかないと思いますので、是非今後も続けて頂けたら嬉しく思います。

-----

### 参加者②

御高名な先生方の講義はとても有意義でありました。  
松田先生、金岡先生からここまでかみ砕いてわかりやすく  
ご教授いただける機会是他にはないと思いますし  
大変ためになりました。ありがとうございました。

-----

### 参加者③

今回、第1回ステントグラフトワークショップに参加する機会を頂き、EVARについて集中的に学ぶことが出来ました。  
自施設でEVARは未導入であるため、実臨床上での経験が足りないことへの不安が大きかったのですが、講義、Dry Laboともに、そのような不安を払拭するに十分な内容であったかと思います。有意義なワークショップで、貴重な経験をすることが出来ました。ありがとうございました。

-----

### 参加者④

実臨床の中で使用機種が限られている中、この症例に本当に一番適しているデバイスはなんだろうかと疑問を抱く時が多々ありました。各製品の長一短に習熟し、一同に並べ、手にして比較してみたいと思っていた中、今回のワークショップが初めて開催されることを知り、迷い無く申し込みました。各企業の説明や、習熟された先生方の御指導のもと、全てのデバイスの感触を直に感じ、添付文書には無い情報が満載で勉強になりました。

-----

参加者⑤

まず、日本血管外科学会事務局の皆様にはステントワークショップを開催するにあたり準備してくださり誠に有り難うございます。

今回、参加させていただいた経緯としては、後期研修医であるため、大学などの大きな施設にいるときには実際計測や手術執刀はすべて上級医がしている状況で、ステント治療は身近ではあったが実際触れる機会は少なかった様に思います。

しかしながら、市中病院へ異動となり、ステント件数は少なくなったものの外来にて開腹ではなく EVAR 可能かどうか患者に選択してもらうように話す機会が増えたため、本邦で使用されている機種の特徴や実際手にとって特徴を説明していただいたのは非常に有意義でした。

参加者⑥

受講前までは製品ごとに施行経験が必要であったり、ピットフォールが異なることに非常に苦手意識を感じていました。しかし前半に各企業からの講演で自社製品の特長を教えていただいたことでそれぞれのメーカーのコンセプトがわかりやすく、利点欠点の整理をすることができました。企業側からのメッセージとしていただくことで、開発のコンセプトや他社製品との比較も自然と伝わる形になったので、ワークショップの導入としては非常に価値が高いと感じました。

参加者⑦

卒後8年目で専門は小児です。普段はEVARに関わる事が多くないため、今回のワークショップに参加させていただきました。各デバイスの特徴など、幅広く勉強することができました。今後は小児領域と血管領域のハイブリッド手術も増えていくと思います。このような場でそのアイデアやテクノロジーを身に付け、よりよい手術を患者に提供できるようになればと思います。是非TEVAR編も参加したいと思います、ありがとうございました。

参加者⑧

先日はワークショップを開催して頂きありがとうございました。各メーカーの説明も参考になりましたし、何より第一線で活躍されておられる先生のコツや注意している点などの生の声が聞けてよかったです。

不満があるとすれば、時間が限られデバイスに触れる時間も少なかった点かと思います。デバイスの展開方法などは用紙を用いて説明してもらえるとありがたかったかなと思います。(展開も直接見られないデバイスが2種はありましたし)

あとは会場でも少しお話がありましたが、コースを分けても良いのかなと思いました。私のようにステントグラフトを実施していない者もいれば同じグループ内に何十例と実際に

されている先生もおられましたので、少し気になりました。

また個人的な意見ですが、施設でステントグラフトが導入されていない場合、どのような流れで実施医を取れば良いか、曖昧で少し情報提供をして欲しいと思いました。(特にステントグラフトの研修プログラムについては情報が少なく、企業側からもアナウンスをして欲しいと感じました)

最後になりますがお忙しい中、多くの先生方に指導して頂き、大変貴重な体験ができました。また企業にもデバイスを提供して頂き、本当にありがとうございました。また次回以降も可能であれば参加させていただきたいと思います。

---

#### 参加者⑨

先日、第一回ステントグラフトワークショップに参加させていただきましたが、大変有意義な時間となりました。明石先生の閉会挨拶の中でも触れられていましたが、このワークショップのために数年にも及ぶ準備期間があったことには大変驚きました。これだけ多くのステントグラフト企業が一同に会して、足並みをそろえながら研修会を開催することは大変だったと想像されます。本会のように、各デバイスの特徴を一度に聴け、実物に触れられたのは大変貴重な経験となりました。実習において、参加者をグループ分けされたのですが、グループ内でもステントグラフト治療経験に差があるようでした。私の参加したグループには、ある程度経験を積まれた先生がいらっしゃったお陰で、色々と教えていただきながらスムーズに実習できました。事前に参加者の経験量を調べ、バランスよくグループ分けするとよりよい実習になるのではないのでしょうか。初心者だけのグループであると大変だったかもしれません。長い準備期間と、当日のマネージメント等、学会関係者、企業関係者の皆様のご苦勞があり、この会の成功があったと思います。来年以降も本会が継続開催され、若手医師にとって大切な勉強機会となることを切に願います。本当にありがとうございました。

---

#### 参加者⑩

ワークショップに参加させていただきありがとうございました。

EVAR デバイスを使用するたびに個々のデバイスはチェックして使用しますが、全機種を並べてそれぞれの特性やマーカ位置などを確認する機会がなく知識の整理のために全機種を同時に比較してみたいという思いが以前からありました。今回のワークショップではそれが解決でき知識の整理ができました。

---

#### 参加者⑪

5種類のデバイスをいっぺんに体験でき、非常に希有な経験をさせて頂いたと感じております。同一会場で、同時に5種類のデバイスを扱うことで、それぞれのデバイスの特徴、長所、短所を捉えやすかったと思います。

また、いまの血管外科の第一線を担う講師の先生方に指導を頂き、実践を想定して、デバイス留置のコツや細かいノウハウを教えて頂けたことは、非常に勉強になりました。このような機会を設けていただき、どうもありがとうございました。

---

参加者⑫

血管外科を志して研修を始めたばかりで、まだステント実施医の資格も取得していませんが、今回各デバイスをしっかり勉強する機会をいただき、各デバイスの利点・欠点をしっかり学ぶことができ、今後の研修に大いに活かしていけると感じました。

今回、このような貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。

---

参加者⑬

このたびは stent graft workshop ありがとうございました。

感想ですが、メーカーの説明が一般的で特にあまり立っていない。商品説明の時間を実施・実践に回してほしいと思いました。実施の場で再度、ビデオも供覧しますし。エキスパートの先生方のお話の方が良いと思いました。実施の現場では各デバイスに触れたので良かった。お疲れ様でした。今後も継続して頂きたいと思いました。

---

参加者⑭

第 1 回ステントグラフトワークショップに参加させていただきました。各業者のステントグラフトの説明、講師の先生方の症例検討、ハンズオンなど多岐にわたりご教授いただき、とても有意義な時間となりました。そろそろ腹部ステントグラフト実施医を提出しようかという身には、今一層ステントグラフトに対する理解を深めるいい機会となりましたし、次回テーマは胸部ステントグラフトを予定しているようであり、今後も機会があれば是非参加したいと思える素晴らしいワークショップでした。この度は貴重な機会を与えていただき誠にありがとうございました。

---

参加者⑮

この度、諸先生方のご尽力で実現した第一回ステントグラフトワークショップに参加することができ、非常に勉強になりました。

当方、5年前に Zenith と Excluder の実施医資格を取ってから、ステントグラフト治療から離れておりました。この度、学会より、開催のお知らせがあり、5年間の日本におけるステントグラフト進捗状況を知るいい機会となりました。

ご講演いただいたステントグラフト(基準)導入の経緯、歴史から、各種デバイスの Pitfall、長所、短所まで教えていただき誠にありがとうございました。限られた時間ではありましたが、何よりも実物に触れ、実際のデバイスを用いたデモもいい経験になりました。(各メーカーのご協力、協賛にも感謝いたします。)

また、インストラクターの先生の開発での苦労話「ステントグラフトの相反する Flexibility と Rigidity の両立」など実演の合間にお教えいただき、苦悩の積み重ね、改良が優れたデバイス開発には必要なんだなあと感じました。医療技術は日進月歩であり、ステントグラフト等も進化していく中で、我々の血管外科治療がどう変わっていくのか、進化／深化するものかわからない部分もありますが、今回の経験を糧にして日々の診療を頑張ろうと思います。

-----

#### 参加者⑯

当院では Excluder がほとんどであり、他のデバイスの特性、操作方法について学ぶことが出来、大変良かったです。

今後は手技のコツや pitfall、さらに胸部デバイスについて学ぶ機会があれば有難いです。

このたびは貴重な機会をいただき誠にありがとうございました。

-----

#### 参加者⑰

今回、2017年4月19日から21日の日程で広島国際会議場にて行われた第45回日本血管外科学会学術総会の最終日に開催された第1回日本血管外科学会ステントグラフトワークショップに参加させて頂きました。

今年の血管外科学会では演題を出しておらず、広島へ行くための口実という下心もありましたが、実際に参加をさせて頂いて、非常に有意義なワークショップであることを実感することが出来ました。

近年、腹部大動脈瘤に対する治療の半数以上がステントグラフトにて行われている現状ではありますが、実際に使用するデバイスを限定している施設がほとんどであると考えられます。私が所属する東京医科大学でも、各企業性ステントごとの差異による誤操作を防ぎ、容易に熟練できるよう原則的に使用するステントグラフトは1種類のみ限定しています。確かに上記の様なメリットはありますが、他の企業性ステントの使用経験はほとんどなく、それぞれの利点、欠点を知る機会がないことも事実です。

今回のワークショップでは、まさしくその様な欠点を補う役割があったと考えます。

Zenith (Cook社)、Excluder (Gore社)、Aorfix (メディコスヒラタ社)、AFX (日本ライフライン社)、Endurant (メドトロニック社)と日本で使用可能な企業性ステント5社によるそれぞれのデバイスに関する解説ののち、実際に臨床で使用されている先生方によるデバイス選択の際のデバイスごとの特性と注意点の講義があり、各社デバイスのサンプルを用いての実技を行いました。

実技では時間およびサンプルの関係で1グループ3デバイス(1デバイス30分)との制約があり、短い時間で慌ただしくも感じました。また、最後に終了証を頂きましたが、現段階ではステントグラフト実施基準管理委員会の定めるステントグラフト実施医基準の研修プログラム程の効力はないという点は残念に感じました。

しかし、現在日本にて使用可能なデバイスそれぞれの特徴および欠点を学ぶことは重要と

考えられるため、研修プログラムとは別としても、ステントグラフトワークショップはステントグラフト実施医（あるいはステントグラフト指導医）を習得する上で必修としても良いのではないかと感じました。

今後このステントグラフトワークショップがより大きく、より有意義な会に発展していくことを心より期待しております。

最後になりましたが、今回は貴重な機会を作って頂いた宮田哲郎先生をはじめとする日本血管外科学会の先生方、デバイスのサンプルを用意して下さった各社の方々に厚く御礼申し上げます。

---

#### 参加者⑱

ステントグラフト治療の勉強を開始するにあたり包括的に学習できる良い機会と思い参加させて頂きました。5社のデバイスの説明を一度に聞いたことでデバイス毎の違いを意識できたことはこの会に参加した大きな収穫だと思います。実技の方は Excluder と Endurant の2機種ともを使用できれば更によかったのですが、時間とデバイス数の関係上仕方ないことであったと思います。最後になりますが、このような機会を提供して下さった日本血管外科学会並びに急遽の参加を快く受けて下さった担当の方にお礼を申し上げます。

---

#### 参加者⑲

この度は第1回ステントグラフトワークショップに参加させていただきありがとうございました。

まず、講義が非常に分かりやすかったです。機種の特徴について理解を深め、上級医の先生が腹部大動脈瘤に対してステントグラフトを選ぶ際に少し話についていけるようになり、とても嬉しかったです。ワークショップでは、3つの機種に触れる機会がありました。指導医の先生が優しく教えてくれたお陰で、血管内治療への苦手意識も無くなりました。まだ執刀する機会はありませんが、今後はますます需要も増えると思うので、積極的に関わっていったら良いなと思いました。この度は貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。